

ぼうさいくんれん
防災訓練で

ひかるはお父さんと自治会が行う地域の防災訓練に参加しています。

1 ひかるさんは地域の防災訓練に参加しています。

2 前田さん 今日参加してくれて、ありがとうございました。
あ、前田さん。こんにちは！

3 この方は前田さん。前田さんは、自治会長として防災訓練や地域のお祭りを開催したり、美化活動に取り組んだり、みんなが暮らしやすくなるようにいろんな活動をしている人なんだ。

4 このまちの自治会長は女性が務めているんですね！女性の会長って大変じゃないですか？

5 もちろん大変なこともあるけれど、自分の住む地域に少しでも貢献できればと思って活動をしているの。女性の自治会長であっても、男性の自治会長であっても、よりよいまちづくりのために役に立ちたいという気持ちは変わらないわ。

6 すごいな～。

7 例えば、日本の政治家は女性が少ないから、もっと女性議員が増えて、男女の議員数のバランスが良くなれば、全ての人尊重される、男性にとっても女性にとっても生きやすい社会が実現できると思うんだ。

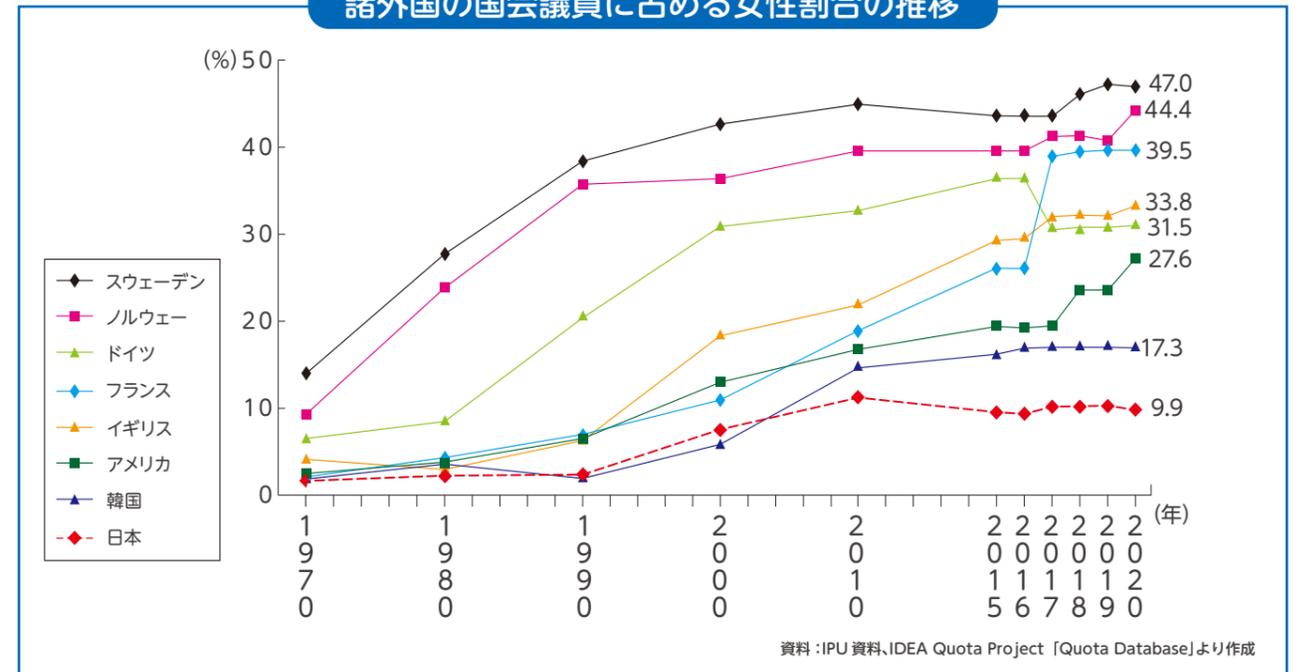
8 男女が一緒になって活躍できる社会のためには、いろんな人の意見を大切にすることが大事なの。
私も頑張ります！

自治会とは自分の住んでいる地域を自分たちの力で住みやすくしていこうと、住民自らが中心となり様々な問題に取り組む団体です。

北九州市内には、約2,800の自治会と町内会がありますが、かつてはその役員のほとんどが男性でした。平成15年度は280人だった女性の自治会長や町内会長は、令和3年度には492人にまで増えましたが、全体での女性の割合は18%ほどで、女性の役員はまだ少ないのが現状です。

住みよい地域づくりには、男女が平等に活躍できる環境が大事です。自治会の分野でも政治の分野でも女性のリーダーが増えていくことが求められています。

諸外国の国会議員に占める女性割合の推移



なぜ日本には女性のリーダーが少ないのかを考えてみましょう。

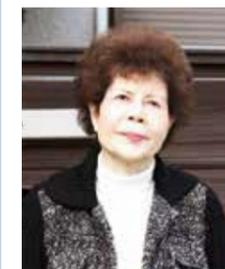


先輩へのインタビュー

男女がともに活躍できる社会やまちをつくるために大切なこととは何でしょうか？



QRコードからインタビュー記事にアクセスしよう



男女が助け合えば
できることが広がります！
戸畑区自治総連合会
会長
みかみひさえ
三上久恵さん

元気なまち、元気な社会をつくるために
自分にできる身近なことから取り組んでいきましょう。